

原子力事故被害への対応 — 宮城県 —

東京電力福島第一原子力発電所事故被害対策実施計画を策定しました

県では、東京電力福島第一原子力発電所事故による被害などに対する総合的な対策について、その基本的視点や県が取り組む基本的な方向性などを示した「東京電力福島第一原子力発電所事故被害対策基本方針」を平成24年1月に策定しました。さらに、3月には、この基本方針に基づき、平成23年度から平成25年度までの3力年に実施する具体的な事業や取り組みを明らかにした実施計画を策定したところです。今回は、この実施計画について紹介します。

目標

震災以前の安全・安心なみやぎの再生
～年間放射線量 ※1ミリシーベルト以下の県土づくり～

これまでに誰も経験したことのない未曾有の原子力災害に正面から向き合い、震災以前の安全・安心なみやぎを再生するために、県は市町村・民間団体・県民と一体となって、目標達成に向けて取り組んでいきます。

※「年間放射線量」は「追加被ばく線量（外部被ばくをい、自然および医療由来の放射線を除く。）」を意味します。

目標達成のための基本的視点

●不安解消のための徹底した対応
～県民の目線に立った対応～

●監視・測定機器の増強や検査対象品目の拡充により、きめ細かな測定を行うとともに、測定結果を迅速に公表します。
●住民が持ち込んだ家庭菜園などの農産物を測定するための体制整備に努めます。

●徹底した放射線低減化システムの構築
～年間放射線量1ミリシーベルト以下の目標達成～

●放射線低減化システムを構築し、生活環境から放射性物質を除去するとともに、県民への周知を図ります。

《放射線低減化システムの流れ》



●5年以内の目標達成を目指し、汚染状況重点調査地域^(※)を中心に市町村と一体となって除染を推進します。
●汚染稲わらなどの処理については、国の方針に基づき適正な処理に努めます。

※放射性物質汚染対処特措法に基づき指定を受けた9市町（石巻市、白石市、角田市、栗原市、七ヶ宿町、大河原町、丸森町、亶理町、山元町）。

●県民の放射線・放射能に対する科学的知見の涵養
～「確かな情報・確かな知識」～

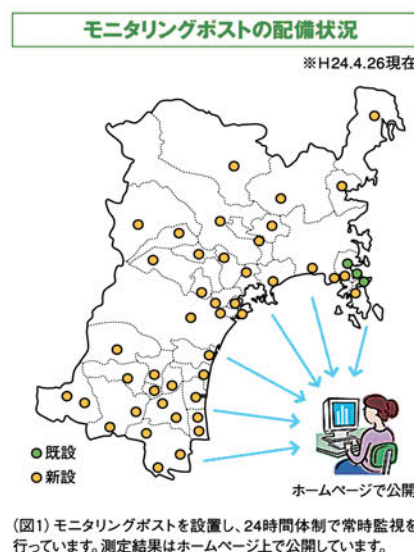
●放射線・放射能に対する情報を県民一人一人が正確に理解できるよう、セミナー開催や出前講座の拡充のほか、あらゆる機会を通じて、正しい知識の普及・啓発を図ります。

個別取り組み

基本方針に掲げた7つの個別取り組みごとに、具体的な事業や取り組みをまとめています。

1. 放射線・放射能の監視・測定

- 国の規制値の見直しなどを踏まえた放射線・放射能測定計画の策定
- 24時間連続し自動でデータ送信するモニタリングポストの県内全市区町村への配備（図1）
- 食品衛生法の基準の改正に伴う農林水産物などの検査の強化（写真1）
- 住民が持ち込む農産物などを検査する機器の全県的な配備
- 学校給食1食分の事後検査と食材の事前検査



（図1）モニタリングポストを設置し、24時間体制で常時監視を行っています。測定結果はホームページ上で公開しています。

2. 健康不安への配慮

- 住民・市町村職員向け講習会の開催
- 検診の受診勧奨など

3. 汚染・被害の拡大防止

- 食品衛生法上の規制値などを超過した場合における出荷自粛などの要請と徹底
- 農産物の放射性物質吸収を抑制するための肥料散布に対する経費の助成
- 風評の払拭に向けたイベント・PRなどの実施

4. 放射線線量低減化対策

- 除染支援チームの派遣などによる市町が行う除染への支援（写真2）
- 学校、公共施設、道路など県有施設の除染

5. 汚染物・廃棄物の処理

- 牧草、稲わらなどの処理経費助成や一時保管施設の設置
- 災害廃棄物の放射能測定や県内での円滑な処理に向けた協議会の運営

6. 損害への対応

- 損害賠償請求ワーキンググループによる業種単位の研修会・相談会の開催
- 国と東京電力に対して県内すべての被害を損害賠償の対象とするよう求める要望活動の実施

7. 正しい知識の普及・啓発

- 放射線・放射能に関するセミナー・相談会の開催
- みやぎ出前講座の開催



（写真1）ゲルマニウム半導体検出器による農林水産物の検査



（写真2）東原市における除染活動の様子

計画の期間

今回の原子力発電所事故による被害の全容がまだ明らかになっておらず、その収束を見通すことは困難であるため、計画期間を3年間とし、平成23年度から25年度までを第1期と定め、現時点で実施を予定している事業や取り組みを整理しています。

なお、今後も、被害状況の変化や国の対応方針の改定などが予想されることから、第1期計画期間中においても、適時適切に計画の見直しを図ることとします。

放射能情報サイトみやぎ

県の放射線・放射能に関するポータルサイト「放射能情報サイトみやぎ」では、最新の測定結果だけでなく、過去の結果も見ることができます。携帯版もありますので、お出かけ中や買い物中に測定結果が知りたくなった際などに、ぜひご利用ください。

- 市町村ごとの放射線・放射能の測定結果
- 水道水・農林水産物などの放射性物質測定結果
- 事故被害対策の基本方針および実施計画 など

パソコン版 放射能情報サイトみやぎ

検索

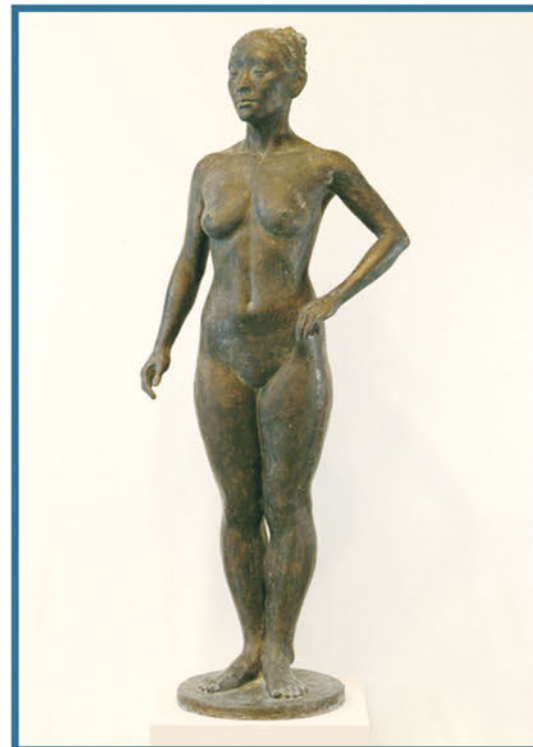
携帯版（スマートフォン対応） <http://www.r-info-miyagi.jp/m/>



洋画「マリネットの女たち」 奥山和子（監修）



洋画「生死の瞬間」 田中 守（監修）



彫刻「裸婦」 松本 隆（監修）

好評開催中

藤崎Fカード、かほびヨシキが会員証提示で本人様のみ、当日入場料を100円引きいたします。

展示内容

日本画、洋画、彫刻の入賞・入選作387点に審査員、参与、顧問、招待作家の作品58点を合わせた445点を展示。
※一番町館5階会場には参与、顧問、招待作家の作品を展示。

本展顧問作家による作品解説会

各回ともに午後2時から会場内で開催。
入賞作を中心に作品鑑賞のポイントを解説します。

4月 30日（月・振替休日）…… 安住 英之氏（日本画）
5月 1日（火）…… 跡部 高染氏（洋画）
5月 2日（水）…… 佐藤 淳一氏（彫刻）

※事前申込みは不要ですが、参加には観覧券が必要。当日入場料を100円引きいたします。

本展は

「せんだい春のアート散歩」に参加しています。
各会場の展示内容など詳細は河北新報のホームページで公開中！

せんだい春のアート散歩

検索

第75回 河北美術展

5月8日 まで
藤崎本館7階 催事場・一番町館5階

午前10時～午後7時【最終日午後4時まで】
※ご入場は、開場の30分前までとさせていただきます。

入場料（税込）／一般・大学生 700円／高校生 500円／中学生以下 無料

お問い合わせ 藤崎本館7階 催事場
河北美術展受付
TEL.022-261-5111（代表）

※入賞作品31点は河北新報HP「コルネット」でも見ることができます。

第75回 河北美術展

検索